

# 平成 27 年度

## 山口市市民活動支援センター

### さぽらんて 事業報告書



#### 《目 次》

I	平成 27 年度ダイジェスト……	1 p
II	委託契約に基づく事業報告	
1	施設管理……	3 p
2	普及・啓発……	4 p
3	相談……	8 p
4	人材発掘・養成……	9 p
5	協働促進……	15 p
6	団体事務局支援……	15 p
7	ネットワーク……	16 p
8	その他……	18 p
III	運営……	20 p
IV	今後に向けて……	22 p

平成 28 年 3 月

運営受託団体：特定非営利活動法人山口せわやきネットワーク

# 平成 27 年度山口市市民活動支援センターさぼらんて事業報告

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

## I 平成 27 年度さぼらんて事業報告 ダイジェスト版

気軽に相談できる雰囲気大切に相談支援を基本に、市民活動団体の大きな課題となっている人材不足、資金不足の課題を解決するための市民への啓発と寄附も含めたボランティアの参加に向けて、「市民活動の意義を伝える」「市民活動団体に寄り添う」「幅広いネットワークを生かしてつなぐ」支援を展開。基本的事業となる相談や講座以外の特徴的な支援は以下のとおり。



### ■ 円卓会議から「コドモジカンプロジェクト」へ 13-14P

具体的な社会課題を解決する市民活動の発展をめざして、共育をテーマにした 3 回の円卓会議の意見を基に、主に白石地域の小学生を対象にした居場所づくり「夏休み街中コドモジカン」を実施。やまぐち路傍塾とコラボレーションして報告会の開催。また、市内の地域づくり協議会へ「コドモジカンプロジェクトのすすめ」への訪問説明など子どもを中心にした市民の活動の広がりを推進。

#### 【種まき内容】

- ①登録市民活動団体 7 団体を集めた円卓会議で山口市の子どもたちを取り巻く課題を深める中で根本的な課題解決の道を共有。
- ②円卓会議の意見をもとに「夏休み街中コドモジカン」を 12 団体と共に行い、それぞれの団体が普段の活動を開いて、子どもたちの豊かな体験活動という新たなワークショッププログラムを開発。
- ③参加児童の保護者へのアンケートで、市民活動への関わり意識調査を行うことで市民活動を PR。
- ④「コドモジカンプロジェクト報告会」でやまぐち路傍塾との新たな連携。
- ⑤地域づくり協議会へ地域の子どもの中心に大人の絆をつくる「コドモジカンプロジェクトのすすめ」を訪問説明。

### ■ 市民活動予備軍への啓発「ええやん新聞」

5-6P

平成 26 年度山口市まちづくりアンケートによると、ボランティア活動（NPO 活動）を行っている市民の割合は全体の 11%にとどまるものの、「以前やっていた」「機会があればやってみたい」との回答は 47%あり、市民活動予備軍といえる潜在市民の割合は半数近くいる。そこで市民活動や市民が主体で進めているまちづくり活動情報を市民目線で発信し、市民活動予備軍への新しい価値観との出会いや気づき、新たなつながりや参加のきっかけを創出するために年 2 回（9 月、2 月）発行、3 万部発行。

#### 【種まき内容】

- ①市民広報スタッフを登用し密な編集会議を通じての市民目線を持った支援者の育成。
- ②子育て世代への配布し、まちづくり意識の啓発（山口市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校へ全校配布）。
- ③モニタースタッフ（市民活動を知らない市民）会議による意見交換時に市民活動への理解促進。
- ④取材依頼時におけるさぼらんて事業への理解促進。

## ■大学生×市民活動のつながり「Yuccaサロン」

17P

大学と連携して「交流し互いを知る」ということを一番の目的とし、団体側から自分たちのめざすことや活動の必要性を伝え、県立大学生に参加することで得られるものをアピールする場(ワークショップ4回)を開催。

【種まき内容】

- ①大学生と山口市の身近な市民活動やさぼらんととの出会い。
- ②市民活動団体の若い力の巻き込み方の習得。

## ■中学生キャリア教育

19P

中学校からの申し入れで今年度初めて、中学生のキャリア教育に取り組んだ。2日間のワークや市民活動団体の訪問を含む職場体験は、中学生にとっては身近な社会課題を考えるきっかけとなり新鮮だった様子。今後「中学生向け 社会課題を考えるプログラム」を作成し、少人数の受入を恒常的に行えるようにしたい。

【種まき内容】

- ①中学生への市民活動体験の提供。
- ②社会貢献目線の中学生キャリア教育プログラム(2日間)の創出。



## ■NPOのマネジメント支援

11-12P

NPO法人の人材不足、資金不足の解決し安定した運営に向けて、理事・職員のマネジメント力向上をめざし、複数回寄り添い、必要に応じて専門家も交えて課題整理をしながらアドバイス。

今年度は特に山口県共同募金会から指定寄附の仕組み作りに協力してくれる法人への同行希望があり、寄附への取り組みの基本セオリーの徹底指導を受けた。NPO法人をめざす任意団体も含め11団体へ72回の訪問アドバイスや勉強会を行った。

企業×NPOのつながりプロジェクト「支え人。」も安定してきた。

3NPO法人に対して、7企業から259,306円(累計515,454円)の寄附。

【パワーアップの内容】

- ①NPO法人へファンドレイジングスキル。
- ②NPO法人への損益計画のスキル。
- ③任意団体へのNPO法人格取得の理解。
- ④個別に活動している人への団体立ち上げのスキル。
- ⑤企業への本業を活かした社会貢献のスキル。

## ■市民活動の始めの一步を支援

さぼ de night

16-17P

商店街が一番に賑わうちょうちん祭りの夜のさぼらんとイベント「さぼ de night」に向けて実行委員会への呼びかけを行い、複数の団体による「人・モノ」持ち寄りの共助型バザーを実施。

【パワーアップ内容】

- ①活動費の捻出。
- ②他団体との成果をあげるためのネットワーク強化。
- ③収益事業を行う際の税務知識。

## Ⅱ 委託契約に基づく事業報告（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

契約書に基づき「施設管理機能」「普及・啓発及び情報収集・提供機能」「相談機能」「人材発掘・養成機能」「協働促進」「事務局支援機能」「ネットワーク機能」別に事業展開。

### 1 施設管理

山口市中心商店街へ設置された拠点機能（ハード）を活用した支援機能（ソフト）となるため、市民活動団体への支援を中心に幅広い利用者を想定し、下記の対象別エリアを設定し対応。

#### 【対象別エリア】

##### ○市民の自由な情報交差点（入口オープンスペース）

一般市民が自由に入館でき、情報収集しやすいレイアウトに。また、入館しない市民へも配慮し、ショーウィンドーも活用した。

##### ○団体の自由な活動形態を応援（会議室・2階ワークスペース・和室）

会議・講座はもちろん、専用事務所を持たない市民活動団体の作業場としても、出来る限り活動しやすい方法で柔軟に対応。

##### ○気軽に相談できる場（1階拠点管理事務スペース）

職員に気軽に相談できる雰囲気大切に、登録団体との情報交換や気づきの共有を心がけた。

#### (1) 開館日

水曜日及び年末年始（12/29～1/3）を除く毎日

◇開館日数 308日

◇閉館日数 57日

※商店街の、祇園祭り、ちょうちん祭りの水曜日は開館



#### (2) 開館時間

平日・土曜日 10:00～19:00

日曜日・祝日 10:00～18:00

※利用団体の10時からのイベントや講座などの準備に合わせて、9時より対応可能とした。

#### (3) 各種手続き書類の配置

##### ①市民活動団体向け

登録市民活動団体への提供サービスのしおり

市民活動団体登録用紙

会議利用報告書

ブログ反映機能申請書

印刷機利用カード

機材借用書（貸出）

持込みイベント申込書・報告書

- インターネット使用簿
- 窓口業務依頼申請書
- 学生ボランティア依頼書

②内部用

- 相談カード
- 機材貸出予約簿
- 拠点利用予約簿
- 日計表（日別集計表・累計表・月別平均表）
- 職員業務日報

## 2 普及・啓発及び情報収集・提供

積極的に情報収集を行い、市民活動の意義、社会課題の共有というメッセージ性を大切に発信した。拠点を活用し団体紹介のミニポスター展示をするなど、来館される方への普及・啓発も充実させ、ホームページへの支援情報、団体情報、講座レポートなど情報集積にも力を入れた。

また、市民目線のカジュアルな情報紙「ええやん新聞」を子育て世代の社会貢献意識の啓発を目的として、市内幼稚園、保育園、小・中学校へ配布した。

円卓会議やコドモジカンププロジェクトなど事業実施後はホームページ上にレポートを掲載するとともに、かわら版も作成し、カジュアルに市民活動を伝えることに努めた。

### (1) 市民活動に関わる情報の収集及び整理

#### ①山口市内の市民活動情報

団体ごとの個別ファイルを作成。

#### ②NPO支援情報

#### ③市外の市民活動情報

①～③市民活動に関する情報をファイルし、閲覧できるよう整備。

また、団体向けには年間助成金一覧表を、分野別、締切日別に作成し掲示。

### (2) 広報紙の発行

登録団体への事業報告や事業のかわら版を発行し支援内容を伝える他、団体が人材不足の課題を抱えているため、市民向けの啓発紙にも力を入れ、市民と市民活動をつなぐ発信を心がけた。編集作業には市民広報スタッフを巻き込み、社会課題の当事者意識を広げる市民目線を大切にした。



#### ①さばらんて事業情報

○さばらんての平成25年度の事業報告ダイジェスト版

【対象】 登録団体・地域交流センター・関係各所

【発行部数】 600部

【形態】 A4サイズ 4P 手刷り

○平成26年度の登録団体一覧

【対 象】 登録団体

【発行部数】 350部

○さぼらんての平成26年度の事業方針及び事業一覧

【対 象】 登録団体・地域交流センター・関係各所

【発行部数】 600部

【形 態】 A4サイズ 4P 手刷り

## ②助成金情報

身近な助成金を中心に隔月発行。併せて、希望団体にはメールでも毎月情報配信。

【対 象】 市民活動団体向け 隔月発行

【発行部数】 600部

【形 態】 A4サイズ 両面 手刷り



## ③ええやん新聞

平成26年度山口市まちづくりアンケートによると、ボランティア活動（NPO活動）を行っている市民の割合は全体の11%にとどまるものの、「以前やっていた」「機会があればやってみよう」との回答は47%あり、市民活動予備軍と見える潜在市民の割合は半数近くいることが推測される。そこで市民活動や市民が主体で進めているまちづくり活動情報を市民目線で発信し、市民活動予備軍への新しい価値観との出会いや気づき、新たなつながりや参加のきっかけを創出するために発行。

今年度は、協働推進課の協力のもと、一部の地域への回覧が可能となり、読者層の広がりが生まれた。

【実施のポイント】

○市民広報スタッフによる「市民目線」での発信。

○社会のニーズや時事にあったテーマの取りあげ。

○さぼらんてのメッセージや取り組みを紹介しさぼらんての周知を広げる。

○モニター制度や懸賞つきハガキでアンケートを導入し、読者の感想を反映し紙面を充実。

【対 象】 市民向け 年2回発行（9/25、2/1発行）

【発行部数】 12・13号 各30,000部

【配布先】 市内幼稚園・保育園、市内小学校・中学校、高校、大学、企業  
地域を限定した回覧板

【形 態】 タブロイド判 カラー印刷

【テ ー マ】 **12号**：特集「学童期の放課後」

1P：ええやんピープル 佐藤光恵さん〈子育て支援従事者〉

2-3P：ボイス「放課後、何して過ごしちよる？」

団体紹介①NPO法人あいねっと佐山 地域で子どもたちを見守るしくみ

②キッズクラブふあいと 働くお母さんが立ち上げた学童

③母子生活支援施設沙羅の木 子どもたちの居場所と地域をつなぐ

山口市の児童図書館の紹介

4P：ほっこりおやつレシピ 季節のおやつ

さぼらんての発行育ち応援団！ さぼらんての取り組み紹介

クイズ、編集後記

13号：特集「思春期の関わり」

1P：ええやんピープル 村上竜司さん〈吉敷地区子ども会長〉

2-3P：ボイス「小学4年生～高校生の保護者の思春期の悩み」

チャイルドラインやまぐち 子どもの電話相談の取り組みと情報提供  
スマホケータイ安全教室 学校と企業の取り組み紹介

認定NPO法人こどもステーション山口 乳幼児期のスマホ利用リーフレットの紹介

親子で学ぼう生と性：書籍紹介

コラム「おこづかい」で子どもの金銭感覚を

思春期の子育て体験事業レポート 行政、学校、子育て支援団体の協働事業

4P：忙しい朝にも手軽に「まごわやさしい」レシピ

ジュニアリーダーの声：JR中高生の体験談

クイズ、編集後記

【読者はがきより】

「回覧で見かけじっくり読み、よいことをされていると思った。機会があれば訪問したい。」

「さまざまな活動があることを知り、勉強になった」「私も退職したら、人の役に立つボランティアをしたい」「山口市をこうして支えてくださる方々がいらっしやることを頼もしく感じた」などたくさんの好印象の意見があった。

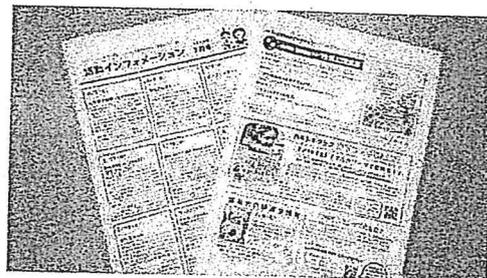
④活動インフォメーション

市民向けに市民活動団体の行事を抜粋して紹介。

【対象】 市民向け 毎月発行

【発行部数】 1,200部

【形態】 A4サイズ 両面 手刷り



⑤さぼらんてかわら版

さぼらんて事業後に内容をわかりやすくまとめたものを発行

7月発行：円卓会議かわら版 ～共育を考える～

10月発行：かわら版 ～街中コモジカンププロジェクト特別編～

【対象】 市民、登録団体、地域交流センター、関係各所

【発行部数】 700部

【形態】 A4サイズ 4P 手刷り

⑥あそびがまんなか“コドモジカンププロジェクト”のススメ

子どもたちの地域の居場所を仕掛けを提案

【対象】 地域で子どもたちの居場所をつくりたいと考えている人

【発行部数】 1,000部

【形態】 A4サイズ3つ折り カラー印刷

(3) ホームページの運用

市民の素朴な質問に応えられる「知りたがりナビ」市民活動をしている人の質問に答えられる「活動充実ナビ」に加え、社会貢献を考えている企業を対象とした「企業の皆様へ」の入口を新設。

ホームページ上における支援と市内の市民活動情報集積をめざし、団体のブログ発信力を支援し団体の活動の見える化に努めた。団体の情報発信数は1,467件。

また、独自の講座などは、わかりやすく講座レポートとして発信するほか、市民や活動団体への有益情報を随時お知らせとして広報。また、SNSと連動して発信することにより、アクセス数116,951件(1,272件減)、実人数40,923人(1,317人増)。

①ホームページ全体閲覧数

「知りたがりナビ」「活動充実ナビ」に続き「企業の皆様へ」の入口を設置。企業×NPOのつながりプロジェクト「支え人。」の情報を充実。



	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
アクセス数	116,951	127,223	113,536	92,782
アクセス実人数	40,923	39,606	36,889	27,518

②まちサポ広場（電子図書館）の市民活動団体利用

平成25年度より登録団体の基本データは全て掲載。

	H27年度	H26年度	H25年度	H24年度
利用団体数	301	290	293	128
更新団体数	53	55	41	34
年間記事数	1,467	1,625	1,448	1,158

(4) 情報交流コーナーの活用（「さぼらんて」前面フロア）

- ①市民活動紹介コーナー 団体紹介ミニポスターを作成し掲示
- ②助成金コーナー 展示場所を前面に出しリニューアル
- ③NPO法人情報コーナー NPO法人格取得に向けて情報などを設置し、市民が入りやすいようにレイアウトを工夫するとともに、市民活動等に関する情報を分野に分け、見出しやコメントをつけて掲示し啓発。

(5) マスコミ等の活用

- ①報道機関へ広報紙の配布及び事業ごとのプレスリリースを行い、新聞記事やTVニュースにも取り上げられた。
- ②サンデー山口や、商工会議所の会報などにも記事を掲載。

(6) 出張市民活動展示

さぼらんてに常設している市民活動紹介ミニポスターを転入の多い時期に、市役所ロビーにて展示する事で、日頃来館する機会の少ない市民に向けて、団体情報などを行うことで、まちづくりへの意識向上や参加のきっかけを促し、市民活動への理解を深めることがねらい。

団体のパンフレットはもとより、さぼらんてのパンフレットや



ええやん新聞などの一般市民の持ち帰り数が多く、市役所への来館者や転入者への広報手段としては有効であった。

【展示内容】

- ・さぼらんてポスター
- ・さぼらんて広報紙（ええやん新聞、さぼだよりバックナンバー）
- ・さぼらんて事業報告・事業予定
- ・登録団体活動紹介ミニポスター62 団体
- ・団体パンフレット（25 団体）

【展示場所】

開催日：平成 27 年 3 月 26 日(木)～4 月 10 日(金)

場 所：山口市役所ロビー

### 3 相 談

市民活動支援の基本を相談に置き、多様な相談に対応。特に運営相談は、寄り添い支援を基本に必要な場合は専門家と連携し、誠実に対応していった。

また、商店街に設置されていることから、市民からの活動相談等も半数近くを占め、個人の活動への相談対応や、市民活動団体との橋渡しも行った。

#### (1) 相談・問い合わせへの対応

市民の市民活動への参加や市民活動団体の活動充実のために対面・電話・メールによる相談に応じ、助言を行い、内容によっては、他機関・窓口を紹介しマッチング。

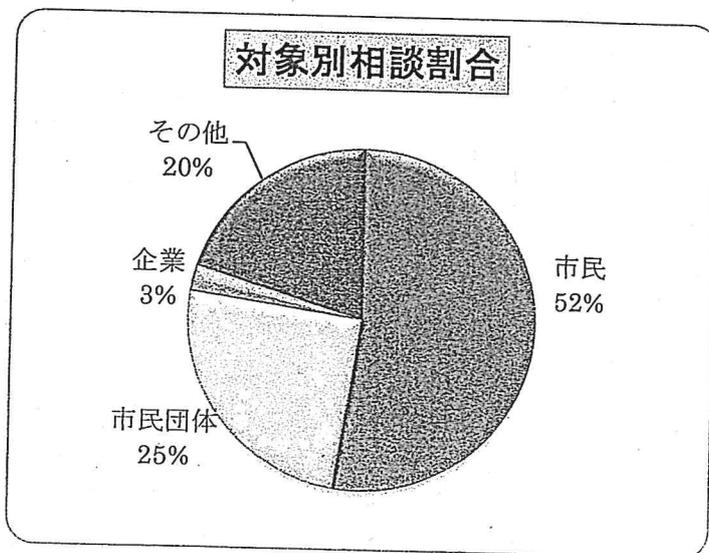
○相談件数 461件（来所 271件、電話 190件）

○問い合わせ件数 328件（来所 197件、電話 131件）

※職員の相談カードに記載された特記事項のあるものの件数は 611 件（グラフ集計総数）

【対象別相談内訳】

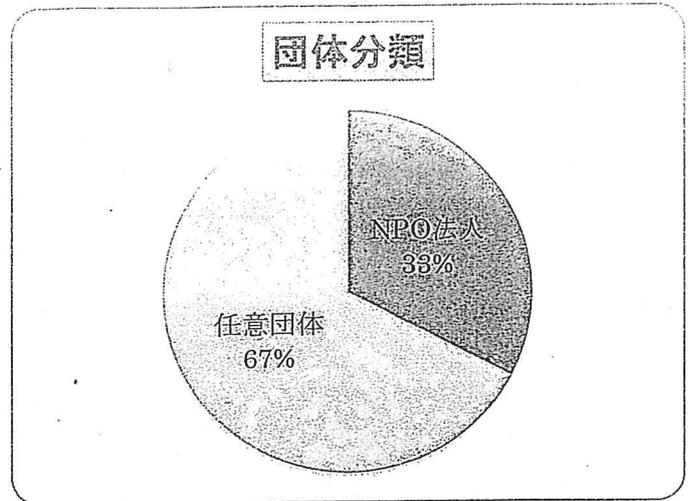
対 象	件 数
市民	320
市民団体	153
企業	15
その他	123
合 計	611



商店街に立地し、気軽に問合せできる雰囲気を大切にしているので、市民からの相談や問い合わせが半分以上を占める。

【団体からの相談内容種類別内訳】

団体分類	内容	件数	
NPO法人	運営	26	50
	活動	24	
	その他	0	
任意団体	運営	21	103
	活動	80	
	その他	2	
合計		153	153



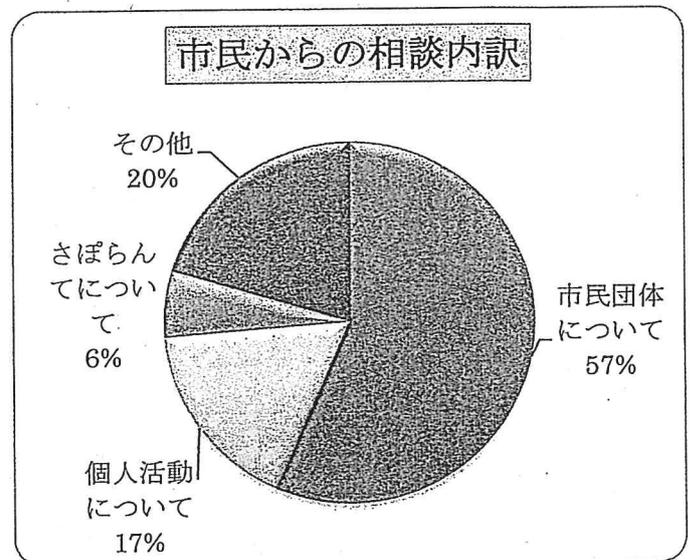
団体からの相談は、3分の1がNPO法人から、3分の2が任意団体からとなっている。

NPO法人の相談の半数の運営相談は定款や雇用関係の規定やマネジメントなどで、残り半数の活動相談は情報発信や新規事業の立ち上げ、助成金などとなっている。

任意団体の相談の3分の1の運営相談は、法人化についてが多くを占め、活動相談は助成金、情報発信、イベントなどとなっている。

【市民からの相談内容内訳】

内容	件数
個人的活動について	55
さぼらんてについて	19
市民団体について	181
その他	65
合計	320



半数以上が市民活動についてとなっており、「機会があれば活動したい」「市民活動のサービスを利用したい」という市民の意向がうかがえる。また、「個人的な活動を広めたい、始めたい」など個人的活動についての相談も17%（55件）ある。

(2) 相談・問い合わせの内容の一覧化

寄せられた相談・問い合わせ内容を一覧化し、NPO法人等対象別に相談内容を取りまとめ、分析し相談内容の予測を行うとともに、必要な情報や知識等の蓄積に努め相談対応に反映。

4 人材発掘・養成

公共を担っていくための「社会的信頼を得られる継続活動」に向けて、情報発信力とマネジメント力に重点をおいて、講座、研修、訪問等を行っていった。今年度は県の「中核的人材育成事業」を受託し、ファンドレイジング力の強化も行った。

企業×NPO寄附付き商品プロジェクト「支え人。」や団体訪問を通じてNPO法人の多様な財源確保・マネジメント力を支援。

全ての講座において、講座レポートをホームページにアップし、団体支援の情報として蓄積していった。

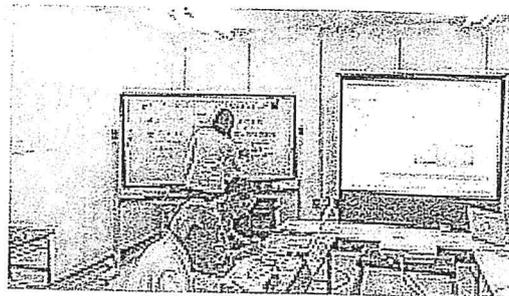
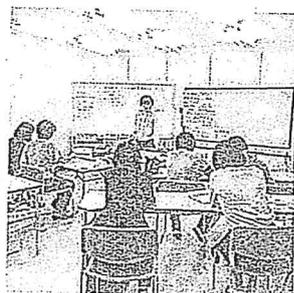
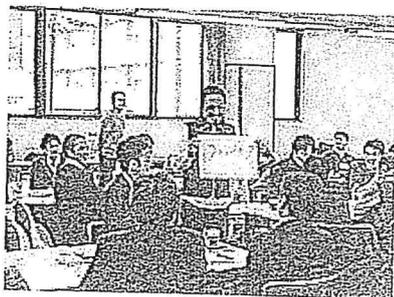
## (1) 講座・セミナーの開催

### ① 活動充実講座

	講座・研修	日付	講師	参加者
1	マイナンバー制度学習会	11/12	大原 修至氏 〈税理士法人本事務所〉	11 団体 15 名
2	助成金ゲッターズⅠ 助成金相談&ポイント	10/2	渡邊 洋子 〈さぼらんてセンター長〉	4 団体 4 名
3	地域を巻き込むプロになろうⅠ 寄附事業開発をするためのファンドレイジングと遺贈	12/5	栗田 将行氏 〈福岡市社会福祉協議会〉	34 名
4	地域を巻き込むプロになろうⅡ プロボノ事例と組織マネジメント	1/16	林 陽一郎氏 〈しものせき後見人支援プロジェクト〉	50 名
5	地域を巻き込むプロになろうⅢ 社会課題解決に向けた企業ノウハウの活用	1/16	小川 宏氏 〈NGO ファンドレイザー〉	52 名
6	地域を巻き込むプロになろうⅠ 地域を変えるおしゃれな社会貢献のづくり方	2/13	小柴 徳明氏 〈NPO 法人 明日育〉	61 名
7	地域を巻き込むプロになろうⅠ 共感力を高める広報戦略	2/13	横森 祐治氏〈大手広告代理店〉 長井 一浩氏〈NPO 法人明日育〉	61 名
8	助成金ゲッターズⅡ きらめき財団の助成金説明&個別相談	2/25	森永 小波氏 〈山口きらめき財団〉	8 団体 15 名

### ② 情報発信充実講座

	講座・研修	日付	講師	参加者
1	発信力を高めるブログ講座① ブログを始める前に	5/28	千々松 葉子氏 〈パインワークス〉	7 団体 10 名
2	発信力を高めるブログ講座② ブログ開設&再開しよう!	6/11	千々松 葉子氏 〈パインワークス〉	4 団体 7 名
3	発信力を高めるブログ講座③ Facebook 編	6/25	千々松 葉子氏 〈パインワークス〉	6 団体 10 名
4	ひびくパンフレット講座① パンフレットの内容を考える	9/10	小柳 明子氏	4 団体 8 名
5	ひびくパンフレット講座② パンフレットのレイアウトを考える	9/24	小柳 明子氏	4 団体 8 名
6	ひびくパンフレット講座③ パンフレットの劇的ビフォーアフター	10/8	小柳 明子氏	3 団体 5 名



## (2) NPOマネジメント支援

### ①訪問サポート（おでかけさぼらんで）

NPO法人の人材不足、資金不足の解決し、公共を担える安定した組織運営をめざし、まずは、理事・職員のマネジメント力をつけていくために、複数回寄り添い、必要に応じて専門家も交えて課題整理をしながらアドバイス。

今年度は特に山口県共同募金会から指定寄附の仕組み作りに協力してくれる法人への同行希望があり、寄附への取り組みの基本セオリーの指導を受けた。

○NPO法人へのファンドレイジングに向けての徹底指導：4法人へ39回

○NPO法人への運営強化支援：1法人へ3回

○新規プロジェクトの立上げ支援：15回

○任意団体への運営強化支援：5団体へ15回

### ②企業等へのPR活動

○女性創業セミナー（10/5）における「支え人。」のプレゼンテーション

○山口市立地企業連絡協議会における「認定NPO法人支えてネットワーク」プレゼンテーション

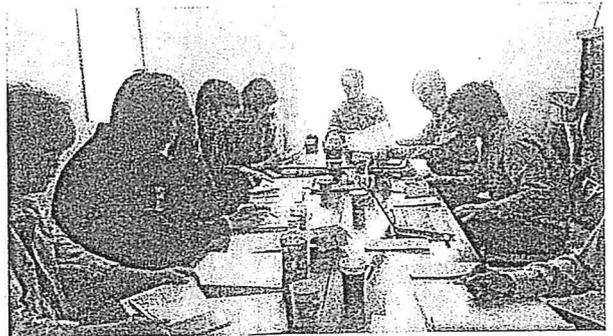
○防府市における寄附つき商品づくり企業説明化において山口の活動をプレゼンテーション

### ③アワードへの推薦

「チャレンジやまぐち！地域貢献賞」（5年連続推薦団体が受賞）などの推薦を行った。

○山口市の平成26年度パワーアップ賞受賞団体（有）ひわだや

○山口ロータリークラブの表彰りす会山口



## (3) 企業×NPO寄附つき商品プロジェクト「支え人。」

2年目を迎えて大きな広がりはなかったものの、それぞれNPOと企業のつながりは深くなっている。今後じっくり拡大していくためにNPO法人がミッションやビジョンを整理し、企業や市民のニーズや視点を的確に押さえ、幅広い寄附に向けたアプローチ力を向上していけるように、今年度は山口県共同募金会の指定寄附先としファンドレイジングの同行支援をしていただいた。

寄附つき商品以外の企業との連携もひろがりつつある。

【平成26年度実績】

寄附金総額 259,306円 <NPO法人3法人に対して7社からの合計>

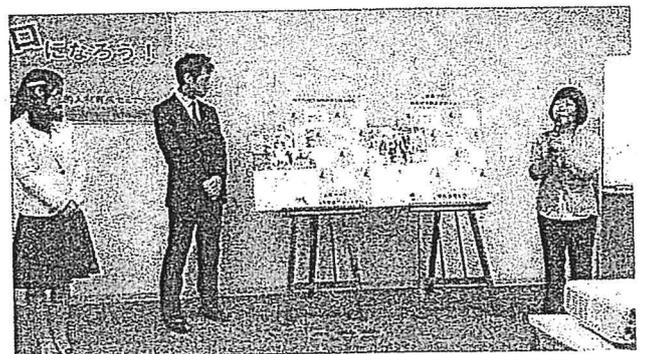
エントリーNPO法人：①認定NPO法人こどもステーション山口

②認定NPO法人支えてネットワーク

③NPO法人あっと

協力企業：①（株）メルシー

②Natural Therapy Bru（ナチュラルセラピーブルー）



③Original Flower Blend Tea RingLink (オリジナルフラワーブレンドティー リングリンク)

④ (有) 寿司やす

⑤ (株) モリイケ

⑥ (有) BAY TOKYO

⑦木のおもちゃ専門店 リンドヴルム

⑧ヨガルーム Bugen 華 (H27 新規) ※寄附金贈呈は次年度より

その他の連携：(有) ひわだや：ひきこもり就労支援

(株) NF デバイステクノロジー：寄附つき商品の活用

今後も企業への理解を地道に広げ、地域をみんなで支える文化を創出したい。

#### (4) NPO 法人実態把握

山口県 NPO 法人データベースより、山口市の NPO 法人を抽出し、寄附金の現状や会計規模を整理、分析し今後の支援策を検討。

○山口市に主な事務所を置く NPO 法人数：78 法人<平成 27 年 3 月末>

○認定 NPO 法人：2 法人

○収入合計は 13 億 1,640 万円 (昨年度比 6,053 万円減)。寄附金額の合計も 1,652 万円 (前年度比 673 万円減)。事業報告書が 1 枚のみが 29 法人 43% を占める。

※事業報告書に未提出法人 10 法人、新規認証のため報告書の提出義務なし 1 法人、経常収益ゼロ 3 法人をのぞいた合計。

【山口市の NPO 法人の合計収入内訳】

(単位：千円)

項目	H26 年度	H25 年度	H24 年度
会費	24,692,185	26,599,543	29,685,040
寄附金	16,518,648	23,244,838	14,007,476
助成金	29,331,677	69,933,250	33,385,929
補助金	16,583,186	98,695,779	25,273,991
事業収益	1,229,276,866	1,158,458,816	1,150,572,253
合計	1,316,402,562	1,376,932,226	1,252,924,689

【山口市の NPO 法人の寄附金額別法人数】

寄附金額	H26 年度	H25 年度	H24 年度
0	27	22	32
1~50,000	15	14	8
50,001~100,000	4	5	3
100,001~500,000	12	13	13
500,001~1,000,000	2	2	1
1,000,001 以上	4	5	4
合計	64	61	61

※有効対象法人数

事業報告書未提出、新規認証のため提出なし、活動計算書上の経常収益ゼロの法人をのぞいた数。

H26 年度：64/78 法人

H25 年度：61/80 法人

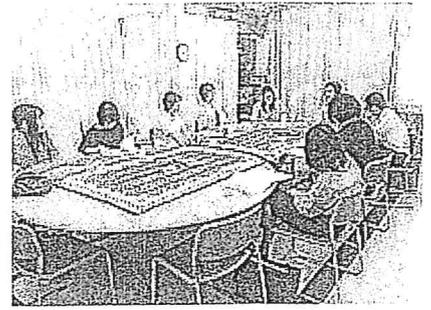
H24 年度：61/74 法人

○全体収入にしめる寄附金収入の割合はわずか 1.3%

○寄附金収入あり 37 法人 (57.8%) そのうち寄附金額 50 万円以上 6 法人 (9.4%)。

## (5) 円卓会議（ワークショップ）

市民活動やボランティアに関わる多様な人材を集め、情報交換や意見交換をすることで、参加者のモチベーションを上げ、社会課題を解決するための連携や人材発掘への一歩を促すために開催。終了後は、内容をまとめてかわら版を発行し登録団体と共有した。



円卓会議を基に多様な市民活動団体を巻き込んだ「街中コドモジカンププロジェクト」を開催し、地域への広がりを期待して路傍塾とコラボレーションした「街中コドモジカンププロジェクト体験報告会」を開催した。また、地域への広がりのPRのために大内地域づくり交流センターへ訪問説明を行った。

### ①さぼカフェ（3回開催）

参加者：市民活動団体7団体、山口市役所2課（社会教育課（やまぐち路傍塾）、協働推進課

第1回 日 時：5月18日(月)10:00~12:00

場 所：さぼらんて 参加人数：11名

テーマ：共育を考える それぞれの立場からの子どもを取り巻く課題

第2回 日 時：6月19日(金) 10:00~12:00

場 所：さぼらんて 参加人数：10名

テーマ：共育を考える 現代の子どもが自由に遊べなくなった理由

第3回 日 時：7月8日(水) 13:30~15:30

場 所：さぼらんて 参加人数：9名

テーマ：共育を考える

①子どもを自由に遊ばせることへの親の不安を解消するには

②子ども世代と関わりとなり大人の子どもへの理解を深めるには

③子どもを取り巻く大人の絆を取り戻すには

④3回のさぼカフェを通じた今後の方針

実験的な試みとしてさぼらんてにおける夏休みの子どもの居場所を市民活動団体と共につくる「街中コドモジカンププロジェクトへ」

### ②街中コドモジカンププロジェクトの開催

さぼカフェを通じて浮かび上がった「子どもがこどもらしい時間を過ごせる空間と場所が少なくなっていること」を解決する実験的試みとして「街中コドモジカンププロジェクト」をさぼらんてで実施。

「子どもたちがこどもらしい時間を過ごせるように」をテーマに市民活動団体がそれぞれの特徴を活かして子どもの居場所づくりを企画。

期 間：7月21日~8月31日までの10日

開催場所：さぼらんて、山口市男女共同参画センター他

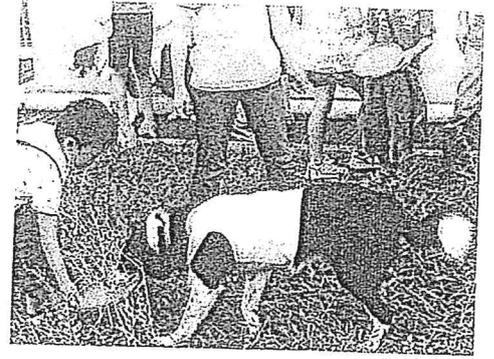
対 象：山口市内の小学生(白石・附属小学校の全生徒に配布、各地域づくり交流センター設置)

協力団体：12団体 ボランティア：62人

参加者：小学生 185 人

開催内容：半日 16 回、一日 3 回

チラシ配布と同時に申込みが殺到し、すぐに定員に達するプログラムも多くあった。夏休みの子どもの居場所に苦慮している実態が見え、保護者アンケートからも「可能な限り手伝えることがあれば協力したい」という回答が 70%あり、新たな支え手も巻き込み次第で広がると思えた。



参加の子ども、実施した市民活動団体ともに好感触で、双方が喜び、地域の絆づくりにもなる「コドモジカンプロジェクト」を地域に広げる必要性や可能性は大きいと感じた。

### ③街中コドモジカンプロジェクト体験報告会

周知に悩んでいた「やまぐち路傍塾」からの提案により、コラボイベントとして「街中コドモジカンプロジェクト体験報告会」を開催

日 時：12月19日（土）13：30～16：00

場 所：山口県社会福祉会館 4F 大ホール

対 象：山口市内の親子

参加者：64名 参加団体：14団体

内 容：街中コドモジカンプロジェクトDVD上映

参加団体の体験発表（3団体）

やまぐち路傍塾デモンストレーション

こどもの居場所づくり事例発表（3団体）

### ④地域交流センターへの説明

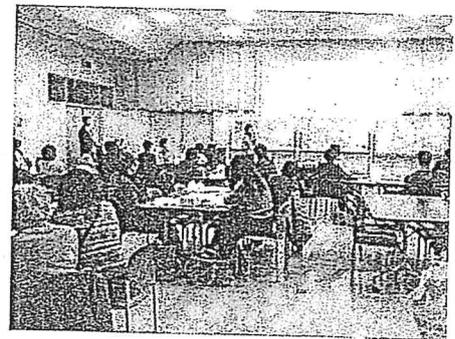
大内地域交流センターへコドモジカンプロジェクトを地域に取り入れていくために訪問説明した。

## (6) その他の人材育成

### ①山口市介護予防・生活支援サポーター養成講座 応用編

高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるように、地域の支え合いの活動に取り組み、自分ももっと元気にいきいきとしていける市民養成のためのワークショップ開催。

高齢障害課からの依頼を受け、社会福祉協議会と打ち合わせ実施。



日 時：2月2日（火）13：30～16：00

場 所：南総合センター

参加者：35名

日 時：2月3日（水）13：30～16：00

場 所：山口市保健センター

参加者：50名

内 容：全体ワーク：これまでの振り返り

グループワーク：高齢者が地域で暮らせない原因

簡単レクチャー：高齢化の現状、地域活動の紹介

グループワーク：どんな支援があれば高齢者が地域で元気に暮らせる？

介護予防にはどうすればよい？

茶話会：参加者同士の情報交換

参加者は活動への意欲旺盛で、今後の地域福祉推進のために貴重な存在だと感じた。

## 5 協働促進

- ①山口市市民活動促進事業の交付金への申請のアドバイス。
- ②地域の子ども会やPTAへ向けて、「子育て応援応援団体」と題した市民活動団体が子どもの健全育成に貢献できるメニュー冊子を作成配布。
- ③担当課との定期的な情報交換会を開催。  
事業のめざすことなどが共有でき、NPO訪問への同行もありパートナーとして、お互いを理解することができた。  
事業の中で、コドモジカンプロジェクト体験報告会の協力を始め「ええやん新聞」の地域への回覧版の手配、立地企業へのNPOPR、春の転出入時期の市役所でのロビー展示などにおいて役割分担ができスムーズに実施できた。
- ④地方創生へのアイデア応募  
登録団体も含め、地方創生のアイデアの応募の声かけを行った。

## 6 市民活動団体事務局支援

専属の職員や拠点を持たない団体が活動しやすいように支援。

### (1) 市民活動団体登録制度の運用

- 平成27年度末 登録団体数：301団体（前年度290団体）  
＜NPO法人43団体、その他の法人5団体、任意団体253団体＞
  - 新規登録団体数： 16団体
  - 解散団体数： 3団体
  - 登録抹消団体数： 2団体

### (2) 登録団体へのサービス提供

- ①場の利用による支援
  - 団体BOX利用  
要望のあった団体に、その都度設置した。  
利用団体数：79団体
  - 印刷機材の提供  
利用件数：302件  
利用団体数：55団体
  - 会議室の提供  
利用件数：316件  
利用団体数：32団体
  - 市民活動団体持ち込みイベントへの提供  
利用件数：54件（延べ利用日数115日）  
利用団体数：19団体



- ②事務局機能の代行による支援  
郵送物等の受け取り、イベント・講座等の「連絡取次窓口」として、市民活動団体事務局機能を一部代行。  
イベント・講座等の「連絡取次窓口」利用件数：11件

### ③ 広報支援

○「さぼらんての広報紙」発送時の同封サービス

「さぼらんての広報紙」送付時に、登録市民活動団体の情報紙やチラシを同封して送付した。

なお、送付作業への協力を得ることで、協力団体同士の情報交換を併せて実施。

利用団体数：延べ45団体（偶数月発送作業）

○マスコミ等への広報活動の助言

市民活動団体行事等において、随時、マスコミ等への記者配布等の助言を行った。

○ホームページの団体行事カレンダーへの掲載

持ち込まれた、団体のイベントチラシなどの情報は全て、ホームページの団体行事カレンダーに反映した。

### ④ 機材貸出による支援

貸出機材件数：202件

<input type="checkbox"/> ワイヤレスマイク一式	9件	<input type="checkbox"/> マルチプロジェクター	24件
<input type="checkbox"/> スクリーン	17件	<input type="checkbox"/> パネ	21件
<input type="checkbox"/> 椅子	14件	<input type="checkbox"/> 長机	24件
<input type="checkbox"/> イゼル	35件	<input type="checkbox"/> ラジカセ	2件
<input type="checkbox"/> 延長コード	15件	<input type="checkbox"/> その他	41件

## 7 ネットワーク

団体の主体性を尊重し合い、有機的な効果を生み出すための自発的なネットワークへの環境づくりを心がけ、また、今年度は特に企業とも連携しつながりを広げた。

### (1) 関係機関・団体との関わり

#### ① さぼ de night はじめの一步支援&団体マッチング事業

複数の団体による「人・モノ」持ち寄りの共助型バザー「さぼ de night」を開催。実行委員会形式で運営し、バザー準備期間には、交流を兼ねたハンドメイド教室と、身近な事業事例をもとに課税されるもの、そうでないものを抑える。バザーは商店街が一年で一番にぎわうちょうちん祭りに併せて開催し、団体パネルを作成するなど活動PRも行う。

任意団体の多くは、法人でないため課税対象になるという認識が低く、収益事業に該当するかどうかの判断が曖昧のまま事業を行っていることがある。事前説明会の実施で収益事業に該当するか否かをしっかり抑え、社会の信頼に応えるNPOを育成するとともに、新たな事業展開を応援。

#### 【内容】

ステップ1 さぼ de night 実行委員参加団体募集（募集要項は別紙）：6月初旬

ステップ2 さぼ de night 説明会

日時：7月16日（木）10時～12時 参加：4団体+1企業

内容：参加方法によるグループ分け・納品・売上について／団体PR物について

ステップ3 ものづくり教室

日時：6月18日（木）10時～13時 参加：4団体6名

内容：収益事業事例から税務を学ぶ／実行委員交流会／ものづくり教室

ステップ4 さぼ de night 開催

日 時：8月6・7日（木・金）16時～21時

内 容：グループAが2時間ずつ店番。グループCは売上の10%をAに寄付。

企業は経費を除く売上を東日本復興支援団体へ寄付。

各団体パネル・リーフレットなど設置・配布し活動をPR。

ステップ5 HP・ブログ・FB等で情報発信

【参加団体】8団体1企業

【バザー売上総額】58,880円

事前の説明会やワークにより団体同士の交流が進んだ。企業参加枠も設け社会貢献の場を提供。任意団体の活動費捻出としては、最適の方法。今後も実行委員会形式をコーディネートしていきたい。

## ②Yucca サロン（大学との関わり）

市民活動団体の活動の動機は団体のミッションや活動内容への「共感」が一般的。しかし、学生は大人と比べて、市民活動に出会いや経験、自己の成長を求める傾向にある。団体は自分たちの目指すものや活動の必要性を伝え、学生に活動に参加することで得られるものをアピールする。そんな場を提供できればという目的で Yucca サロン開催の運びとなった。交流を通して相手側が何を求めているかを知り、互いの理解を深め、若い力の巻き込み方を模索する。



また、山口県立大学地域交流スペース Yucca との協働事業として開催することにより、大学の地域貢献の促進にもつながる。

ステップ1 日 時：5月14日（木）18:30-20:30

場 所：山口県立大学地域交流スペース Yucca

参加者：学生スタッフ 4名、学生 19名

内 容：自己紹介

気になる市民活動団体への企画提案

ステップ2 日 時：7月7日（火）18:30-21:00

場 所：山口県立大学地域交流スペース Yucca

参加者：市民活動団体 7団体 13名、学生 19名、西京高校生 2名、その他1名

内 容：学生と市民活動団体交流会

ステップ3 日 時：12月4日（金）18:30-20:30

場 所：山口県立大学地域交流スペース Yucca

参加者：市民活動団体 2団体 2名、学生 4名、行政関係者 1名

内 容：学生と市民活動団体交流会

オプション 日 時：9月30日（水）13:00～15:00

内 容：市民活動ミニ講座

グループワーク

参加者：学生 11名 行政 4名

「交流し互いを知る」ということを一番の目的とし、団体側から活動紹介やボランティア募集はするが、参加については学生の自由意思とした。

今回の交流会から学生企画のイベント「生命のメッセージ展」が、大学祭の中で開催された。

今後も継続した働きかけをしていきたい。

③市民活動団体行事への参加

団体主催のセミナーや行事に参加し、ブログ等に紹介していった。

④企業との連携

事業の中で企業の社会貢献やソーシャルビジネスとの連携を模索  
女性企業家のセミナーでプレゼンテーション  
産業立地推進協議会でプレゼンテーション

⑤商店街との連携

・商店街のイベントへの協力、団体との調整、テナント張替などに参加。また、サンデー山口にPR掲載。

・商店街主催の防災訓練への参加

⑥視察等の受け入れ

他センターや大学生及び小中学校の視察見学の受入を行った。

⑦関係各所との連携に向けて、以下のとおり関係会議等に参加。

【市民活動支援県域会議】

会議名	主催	日付	場所	参加数
県民活動ネットワーク会議	県民活動支援センター	5/29	パルトピア山口	2名
県民活動ネットワーク会議	県民活動支援センター	3/18	パルトピア山口	3名

【審議会等】

会議名	主催	日付	場所	参加数
山口県県民活動審議会	山口県	6/1	県庁	1名
山口県立大学ドリームアドベンチャープロジェクト選考会	山口県立大学	6/3	山口県立大学	1名
山口県立大学ドリームアドベンチャープロジェクト報告会	山口県立大学	1/20	山口県立大学	1名
チャレンジやまぐち地域貢献賞選定会議	山口県	10/9	山口県庁	1名

8 その他の事業

(1) 東日本復興支援におけるボランティアコーディネート

ボランティア活動をする学生の多くは、そこに社会貢献や自己成長、人脈づくりを期待しており、中には単位取得のための参加という学生も少なからずいる。そして、人材・資金不足を抱える市民活動団体にとって、学生は単なるイベントの人手ではなく、時間と労力を提供してくれる支援者という存在である。この異なる目的や文化を持った双方が、団体の掲げる社会課題解決という共通の目的を持って活動できるようコーディネートするとともに、さぼらんでも市民活動団体と協働し、被災地を風化させないという思いのもと誰もが気軽に東日本復興支援に参加できる機会を提供する。

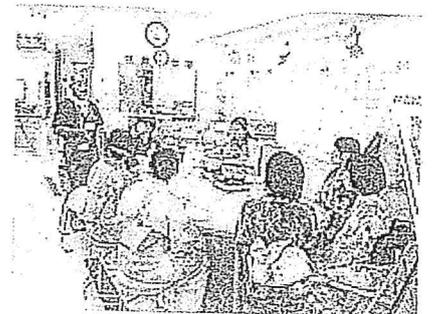
①ちようちんまつりにおけるチャリティ屋台

日 時：8月6・7日 17時～21時半

学生ボランティア数：14名 団体：3名

その他協力：山口の街並みを着物で歩こう会、そごう

寄附金総額：46,700円



寄 附 先：りす会山口

## ②館内募金箱の設置

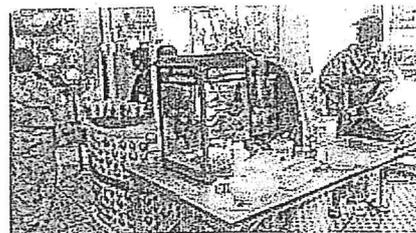
寄附金総額 39,767円

寄 附 先 ①りす会山口

②福島～山口いのちの会

③山口災害救援

上記団体に13,000円ずつの配分



## (2) インターンシップの受入

### ①山口市へのインターンシップ学生の受入

短時間のインターンシップで市民活動をより深く知ってもらうために、山大学生2名を招いて一緒にワークを行った。

日 時：9月8日（火）13:15～17:00

参加者：学生2名 応援学生2名 担当課2名

内 容：ワーク 気になる社会課題を出し合う

市民活動紹介

課題をひとつ選び深める：こどものいじめ

さぼらんで見学

### ②中学生職場体験プログラム

「職場体験に協力してもらえないかという中学校からの依頼文書をもらい、中学生のキャリア教育にさぼらんでが力添えできればと考え引き受けることにした。職場での体験学習を通して、働くことの意義について考え、働くことの厳しさや喜びを体験し、将来の職業生活への展望を持つためにという中学校の目的に賛同しプログラム開発。

受入日：9月17日（木）、18日（金）

対 象：大内中2年生 2名

内 容：1日目 オリエンテーション

チラシの整理

ワーク：私が考える社会課題について

市民活動団体を知る

市民活動見学

感想をブログに書く

2日目 社会課題ワークをもとに3択クイズを作成

団体の話を聞いて、PCを使ってミニポスター作成

成果報告会



今回、中学校からの申し入れを受け始めて実施したが、中学生にとっては、身近な社会課題を考えるきっかけとなり体験が新鮮だった様子。今後「中学生向け 社会課題を考えるプログラム」を作成し、少人数の受入を恒常的に行えるようにしたい。

### Ⅲ 運 営

#### 1 職員体制

職員の内外研修により資質向上に努めるとともに、定期的（毎月）な職員ミーティングにおいて、事業企画や課題への意見交換を行い、支援力を磨き、多様な団体支援に対応できる体制を整えた。又、ローテーション勤務により平日については4～6名、休祭日については2～3名の職員配置を確保し、車の乗り入れ可能な開館1時間前の9時から対応した。

○常勤 3名 非常勤 12名

#### 2 意見聴取

「さぼらんで」への意見・要望を、下記のとおり随時聴取し、運営の参考とした。

○市民活動団体来所時及び相談対応時における意見の聞き取り。

○「さぼらんでだより」同封作業時に協力市民活動団体から聞き取り。

○講座開催時の参加者アンケートによる把握。

○ええやん新聞における「モニタースタッフへのヒヤリング」、「読者アンケート」を実施し、これまで市民活動と関わりのなかった人の意見の聞き取り。

○団体訪問や取材時における団体運営課題などの聞き取り。

○カジュアルな円卓会議「さぼカフェ」による、多様な専門活動をしている人と社会課題を掘り下げた。

○インターンシップ時にもワークを行い、幅広い世代の人と社会課題を掘り下げた。

#### 3 定例連絡会等

「さぼらんで」設置者：山口市協働推進課と運営NPO職員と、よりよい市民活動支援に向けて、定例連絡会を実施。年度途中より山口市地域づくり支援センターも同席。

事業実施におけるスムーズな連携、地域交流センターへの広がりへと繋がった。

【協働推進課情報交換会等】

日付	内 容	担当課	さぼらんで
5/26	新年度事業の確認など	2名	3名
6/5	円卓会議の報告、今後の発展 など	2名	3名
6/25	円卓会議からの発展「ゴドモジカンプロジェクト」の実施について など	2名	3名
9/24	「ゴドモジカンプロジェクト」報告、人材育成事業の取り組みについて など	4名	4名
10/22	上期事業報告、地域づくり支援センター職員インターンについて など	4名	4名
12/10	ゴドモジカン報告会について 次年度事業について など	3名	4名
1/22	ゴドモジカンの地域への広がりに向けて 高齢障害課ワークについて など	3名	4名
2/26	年間事業報告、次年度について など	3名	3名
3/28	地域との連携、次年度について など	3名	3名

※この他に、連携事業の打合せなども行った。

【山口市協働推進課関係会議等】

会議名	主催	日付	場所	参加数
山口市地域づくりアドバイザー会議	山口市地域づくり支援センター	11/2	山口市市役所	1名
山口市地域づくりアドバイザーヒヤリング	山口市地域づくり支援センター	3/14	さぼらんて	1名

#### 4 職員研修

中間支援力向上のために、内外多数の講座・研修に参加し、参加後は職員間で内容を共有する時間を持った。参加講座・研修 28 回、のべ 67 名。

- ①運営支援のための講座・研修 9 回 のべ 18 名
- ②情報発信力支援のための講座・研修 3 回 のべ 10 名
- ③個別テーマ支援のための講座・研修 6 回 のべ 9 名
- ④市民活動の意義や今後の支援のための先駆的研修 10 回 のべ 30 名

➤ 研修一覧

【運営支援のための研修】

月日	講座名	主催	場所	参加者
6/25	NPO 法人の会計実務	やまぐち県民活動支援センター	パルトピア	3名
7/24	NPO 法人の労務			2名
8/30	NPO 法人のためのチェックリスト活用セミナー			1名
11/28	ファンドレイジング基礎講座			2名
11/28	NPO 法人関連相談対応共有会議			2名
12/4	NPO の決算			3名
2/18	NPO 法人事務力検定			2名
2/27	信頼を得るための事業報告書セミナー			2名
3/10	NPO のための融資セミナー			1名
3/22	我がまちのデータを作ろう！人口統計データ活用勉強会			2名

【情報発信力支援のための研修】

8/24	マスコミが取材したくなるプレスリリース作成講座	防府市市民活動支援センター	防府市市民活動支援センター	1名
2/13	共感力を高める広報戦略	当センター	パルトピア	4名
2/26	さぼらんてスタッフ・市民広報記者のための広報研修～広報力のアップに向けて～	当センター	さぼらんて	5名

【個別のテーマの支援のための研修】

6/4	山口市地域協育ネットコーディネーター活動説明会及び研修会	山口市教育委員会	吉敷地域交流センター	2名
8/1	生活困窮者自立支援制度シンポジウム	山口県	ホテルかめ福	1名
9/26	男女がともに輝く社会を考える講座	山口市男女共同参画センター	山口市男女共同参画センター	1名
10/27	高校生熟議 2015	西京高校	西京高校	3名
11/29	大丈夫？スマホで子育て～親子のコミュニケーション能力を育む～	保健センター	秋穂地域交流センター	1名
2/17	女性の活躍応援セミナー	山口市男女共同参画センター	山口市男女共同参画センター	1名

【市民活動の意義や今後の支援のための先駆的研修】

11/6	お金の地産地消を読む会	県民活動支援センター	カリエンテ	3名
12/5	寄附事業開発をするためのファンドレイジングと遺贈	当センター	パルトピア	4名
1/15	企業に求められる社会貢献活動	防府市市民活動支援センター	ルルサス	2名
1/16	プロボノ事例と組織マネジメント	当センター	パルトピア	5名
1/16	社会課題解決に向けた企業ノウハウの活用	当センター	パルトピア	5名
2/13	地域を変えるおしゃれな社会貢献の作り方	当センター	パルトピア	4名
3/12.13	ファンドレイジング日本 2016	ファンドレイジングジャパン	芝浦工業大学	3名
2/4	中国4県中間支援者連絡・情報交換会	県民活動支援センター	パルトピア	2名
7/28	ビジネスとソーシャルデザイン	岡崎ビジネスサポートセンター	岡崎市りぶら	1名
7/28.29	岡崎市市民活動センター及び地域交流センター視察	山口市地域づくり支援センター	岡崎市	1名

※その他、山口市の交付金説明会、応募団体プレゼンテーション会、報告会、共同募金申請説明会などにも研修の一環として参加。

#### IV 今後に向けて

平成26年度山口市まちづくりアンケートによると、ボランティア活動（NPO活動）を行っている市民の割合は全体の11%にとどまるものの、「以前やっていた」「機会があればやってみたい」との回答は47%あり、市民活動予備軍といえる潜在市民の割合は半数近くいる。

また、内閣府のNPOホームページに掲載されているNPO法人実態調査報告によるとNPO法人の課題として「人材の確保や教育」が77%と一番多く、次いで「収入源の多様化」60%となっている。市民のボランティアへの意識調査によるとボランティア活動に対して「とても関心がある」「少し関心がある」と回答した人は59.6%となっており、その中で「ボランティア活動をしたことがある」と回答した人は、23.3%にとどまり、参加の妨げとなっている理由は「時間がない」が52.8%で一番多く次いで「経済負担が大きい」29.3%、「ボランティア活動を行ないたいが十分な情報がない」が23.2%となっている。その中で国や地方自治体に対する要望として「ボランティアを受け入れる団体・NPO法人等に関する情報提供や情報発信を充実すべき」と回答した人は、41.9%、「ボランティア活動を行ないたい人と受け入れる人を結びつける人を養成・支援すべき」と回答した人が35.2%と続く。

市民の寄附金については、「過去3年間寄附をしたことがある」47.6%、「寄附金額5,000円未満」52.8%、寄附先としては「共同募金会」49.7%、「日本赤十字社」32.7%、「町内会・自治会」32.5%と続き、NPO法人は13.9%に留まっている。寄附への妨げになっていることは「寄附しても実際に役立っているとおもえない」36.9%、「寄附先の団体、NPO法人等に対する信頼度に欠ける」35.3%と続いている。

さぼらんでに登録している団体301団体においてアクティブに情報発信している団体は55団体に留まっている。NPO法人の寄附については、「寄附金を受領している法人」57.8%（37法人）、そのうち「50万円以上の寄附金」を受領しているのは9.4%（6法人）のみとなっている。

これらを踏まえ、さぼらんでではNPOの運営力をあげ、多様な財源確保ができるように、ボランティアに興味のある市民に情報が届くように、そしてこれからの市民活動の人材育成のために①市民活動団体の情報発信力を支援②NPO法人の運営力を支援③活動するための一歩を支援、これらを重点テーマに総合的な支援を行った。

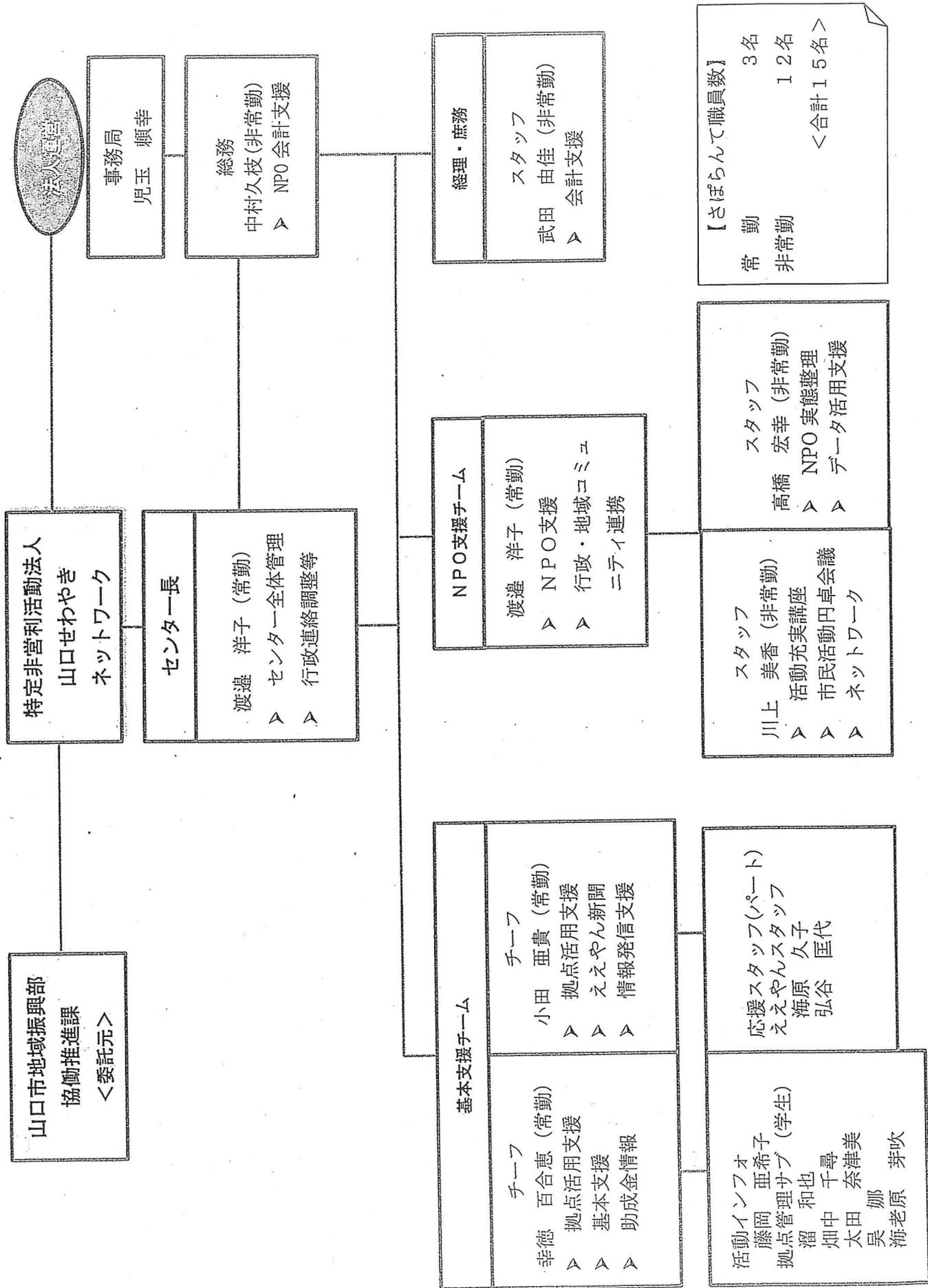
情報発信力は、ブログ活用団体が徐々には増えてきている。今後も継続した講座の開催、情報発信の相談対応などで質の向上も視野に入れて支援していきたい。

市民活動団体の運営力の支援は、NPO法人連絡会、企業×NPOの寄附付き商品プロジェクト「支え人。」マネジメントセミナー、NPO個別訪問などの寄り添い支援を行っていき、緩やかにNPOのマネジメントへの必要性を感じる団体は増えてきている。とはいえ、マネジメント支援を利用している団体は全体の1割弱なので、今後気運をあげていきたい。

また、昨年度から始めたテーマごとの円卓会議（さぼカフェ）、は「共育を考える～子どもたちを取り巻く課題」をテーマとし、具体的な事業の実施に結び付けることができ有意義なものとなった。この内容を協働推進課の協力もあり、地域へ今後もそれぞれに活動している市民活動団体の出会いの場から連携した事業へとつながっていくコーディネートをこころがけていきたい。

今後も◆市民の心に届く情報発信◆有機的動きを誘発するコーディネート◆市民の事業創造の活性に向けて支援力を高め、「誰もが安心して心豊かに暮らせる山口市」へ貢献していきたい。

# 平成27年度さぼらんて体制図（主な業務）



## 【添付資料一覧】

- 数値概要
- 普及・啓発及び情報収集・提供事業
  - ①登録団体向け事業報告簡易版
  - ②年度初め登録団体一覧
  - ③助成金情報
  - ④ええやん新聞
  - ⑤活動インフォメーション
  - ⑥出張市民活動展示
- 人材発掘・養成事業
  - <活動充実講座>
    - ①マイナンバー制度学習会
    - ②助成金講座
    - ③地域を巻き込むプロになる！<山口県中核的人材養成事業>
  - <情報発信充実講座>
    - ①発信力を高めるブログ講座
    - ②ひびくパンフレット講座
  - <NPO支援>
    - ①NPOマネジメント支援
    - ②企業×NPO寄附つき商品プロジェクト「支え人。」
    - ③山口市のNPO法人実態
  - <円卓会議（気づき・つながるワークショップ）>
    - ①さぼカフェ
    - ②街中コドモジカンプロジェクト
    - ③街中コドモジカンプロジェクト体験報告会
    - ④山口市介護予防・生活支援サポーター養成講座応用編
- 協働促進事業
  - ①子育て応援団!!
- ネットワーク事業
  - ①はじめの一步支援&団体マッチング ～さぼ de night～
  - ②Yuccaサロン ～市民活動団体と学生の交流会～
- その他の事業
  - ①ボランティアコーディネート事業 ～チャリティ屋台～
  - ②東日本復興支援に係る館内募金
  - ③中学生職場体験プログラム

# 平成27年度 数値概要

## 目次

- 主なサービスの数値集計……………1 p
- 年間利用状況一覧……………2 p
- 累計報告一覧……………3 p
- 相談等の内訳……………4 p
- 相談一覧……………5 p
- 会議室利用一覧……………19 p
- 印刷機利用状況一覧……………20 p
- 持ち込みイベント一覧……………21 p
- 電子図書館利用状況一覧……………23 p
- 団体情報発信実態一覧……………24 p

平成28年3月

山口市市民活動支援センター さぼらんて

## ■主なサービスの数値集計

分類	内容		27年度	26年度	25年度	
基本	入館者数		27,844	28,861	31,401	
	登録団体		301 (新規16、解散3、未精2)	290 (新規23、解散13、未精13)	293 (新規19、抹消3)	
各種サービス	相談等	相談総数		461	501	321
		内訳	来所	271	336	245
			電話	190	165	76
		問合せ総数		328	443	410
		内訳	来所	197	286	297
			電話	131	157	113
	拠点活用支援	会議室利用	総数	316	362	477
			利用団体数	32	41	37
		印刷機利用	総数	302	303	339
			利用団体数	55	49	58
		団体インターネット利用		129	131	80
		持ち込みイベント	開催のべ日数	115	166	96
			イベント数	54	54	35
			利用団体数	22	19	15
		機材貸し出し件数		202	241	127
		団体BOX利用団体		79	103	91
	情報発信支援	同封サービス利用団体		45	52	39
		電子図書館	利用団体数	301	284	293
			更新記事数	1,467	1,625	1,448
			更新団体数	53	※ 49	※ 41
活動、お知らせ更新団体数			15	15	11	
ブログ更新団体数			38	36	33	
その他	ホームページアクセス数	総数	116,951	127,223	113,536	
		実人数	40,923	39,606	36,889	

※25、26年度は、活動お知らせ更新団体とブログ更新団体が重複しているため合計数はいりません。

山口市市民活動支援センター「さぼらんで」利用状況【累計報告一覧表】

	入館者数	相談件数																	問い合わせ件数				団体 利用 件数	印刷機 利用件 数	インタ- ネット利 用件数	持ち込 みイベン ト等件数	同封送 付利用 団体数	登録団体数累 計		備 考
		来 所							電 話							来所	電話	単年 (増減)	累計											
		市民	市民団 体	行政	企業	その他	計	市民	市民団 体	行政	企業	その他	計																	
平成13年度	3,033						272											---	---	---	---	---	---	---	---	97	97	4ヶ月間		
平成14年度	13,767						528											---	---	---	---	---	---	---	---	47	144			
平成15年度	16,989						232											---	---	---	---	---	---	---	35	179				
平成16年度	20,528						272											---	---	---	---	---	---	---	22	201				
平成17年度	22,051						165											305	164	164	504	3,159	47	148	45	246				
平成18年度	17,535						132											174	126	564	481	2,128	53	109	13	259				
平成19年度	32,801	46	132	11	15	25	229	23	105	9	9	18	164					294	360	395	613	1,878	119	116	13	272				
平成20年度	32,381	52	50	2	8	13	125	22	63	7	5	18	115					449	190	273	427	1,478	78	100	8	280				
平成21年度	32,748	88	89	5	4	14	200	27	38	3	3	4	75					635	277	317	506	1,493	151	105	0	280				
平成22年度	26,241	53	61	5	5	20	144	21	35	4	4	5	69					527	213	333	429	1,381	227	73	-18	262				
平成23年度	30,124	74	83	1	3	21	182	38	43	5	2	17	105					224	143	389	432	1,305	188	92	-10	252				
平成24年度	28,471	115	150	10	16	58	349	48	43	15	8	20	134					382	147	351	382	125	115	88	23	275				
平成25年度	31,401	61	120	10	17	37	245	22	31	5	3	15	76					297	113	477	339	80	96	39	16	293				
平成26年度	28,861	146	144	5	10	31	336	75	59	4	5	22	165					286	157	362	303	131	117	52	-3	290				
4月	2,088	11	16	0	1	1	29	3	3	0	0	2	8					14	6	27	28	6	3	8	1	291				
5月	2,178	18	12	1	3	3	37	6	8	0	0	1	15					26	4	32	31	11	4	0	2	293				
6月	2,283	8	12	0	1	1	22	7	6	3	1	6	23					11	22	28	27	10	8	9	2	295				
7月	3,419	8	5	0	0	2	15	3	6	0	0	1	10					23	13	31	34	12	11	0	2	297				
8月	4,461	9	5	1	1	2	18	12	4	3	0	1	20					12	9	17	13	13	38	6	-1	296				
9月	1,948	4	3	0	0	5	12	8	5	1	1	0	15					24	16	19	20	11	9	1	0	296				
10月	2,024	19	3	0	1	1	24	6	2	1	0	1	10					13	14	28	32	9	3	12	0	296				
11月	1,927	21	2	0	0	3	26	6	7	2	2	4	21					15	15	25	32	7	11	0	0	296				
12月	2,404	8	8	0	0	1	17	6	3	0	1	0	10					15	9	17	18	13	9	4	1	297				
1月	1,449	12	9	1	4	1	27	11	3	1	2	3	20					15	6	28	16	14	2	1	2	299				
2月	1,815	7	8	1	1	2	19	9	6	0	0	1	16					19	11	33	25	10	10	4	0	299				
3月	1,848	9	11	1	1	3	25	4	8	4	1	5	22					10	6	31	26	13	7	0	2	301				
計	27,844	134	94	5	13	25	271	81	61	15	8	25	190					197	131	316	302	129	115	45	11	301				
累 計	364,775						3,682						1,627					3,770	2,021	5,703	6,499	25,342	1,306	1,300	301					

山口市市民活動支援センター「さぼらんで」利用状況【累計報告一覧表②《月平均》】

月平均数	入館者数		相談件数		問い合わせ件数		総件数		団体会議利用件数	印刷機利用件数	インターネット利用件数	持ち込みイベント等件数	同封送付利用団体数	登録団体数
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話						
平成14年度	月平均	1,147	44.0	14.3	---	---	---	58.3	24.0	45.4	265.7	---	6.3	3.9
平成15年度	月平均	1,416	19.3	4.3	---	---	---	23.7	39.1	47.6	374.7	---	10.0	2.9
平成16年度	月平均	1,711	22.7	9.1	---	---	---	31.8	44.9	49.5	338.8	---	11.4	1.8
平成17年度	月平均	1,838	13.8	3.8	25.4	13.7	13.7	56.7	46.9	42.0	263.3	3.9	12.3	3.8
平成18年度	月平均	1,461	11.0	5.4	14.5	10.5	41.4	47.0	40.1	40.1	177.3	4.4	9.1	1.1
平成19年度	月平均	2,733	19.1	13.7	24.5	30.0	87.3	32.9	51.1	51.1	156.5	9.9	9.7	1.1
平成20年度	月平均	2,698	10.4	9.6	37.4	15.8	73.3	22.8	35.6	35.6	123.2	6.5	8.3	0.7
平成21年度	月平均	2,729	16.7	6.3	52.9	23.1	98.9	26.4	42.2	42.2	124.4	12.6	8.8	0.0
平成22年度	月平均	2,187	12.0	5.8	43.9	17.8	79.5	27.8	35.8	35.8	115.1	18.9	6.1	-1.5
平成23年度	月平均	2,510	15.2	8.8	18.7	11.9	54.5	32.4	36.0	36.0	118.6	15.7	7.7	-0.8
平成24年度	月平均	2,373	29.0	11.1	31.8	12.2	84.1	29.2	31.8	31.8	10.4	9.5	7.3	1.9
平成25年度	月平均	2,617	20.0	6.0	25.0	9.0	61.0	40.0	28.0	28.0	7.0	8.0	3.0	1.0
平成26年度	月平均	2,405	28.0	14.0	24.0	13.0	79.0	30.0	25.0	25.0	11.0	10.0	4.0	1.0
4月		2,088	29	8	14	6	57	27	28	28	6	3	8	1
5月		2,178	37	15	26	4	82	32	31	31	11	4	0	2
6月		2,283	22	23	11	22	78	28	27	27	10	8	9	2
7月		3,419	15	10	23	13	61	31	34	34	12	11	0	2
8月		4,461	18	20	12	9	59	17	13	13	13	38	6	-1
9月		1,948	12	15	24	16	67	19	20	20	11	9	1	0
10月		2,024	24	10	13	14	61	28	32	32	9	3	12	0
11月		1,927	26	21	15	15	77	25	32	32	7	11	0	0
12月		2,404	17	10	15	9	51	17	18	18	13	9	4	1
1月		1,449	27	20	15	6	68	28	16	16	14	2	1	2
2月		1,815	19	16	19	11	65	33	25	25	10	10	4	0
3月		1,848	25	22	10	6	63	31	26	26	13	7	0	2
平均		2,320	23	16	16	11	66	26	25	25	11	10	4	1

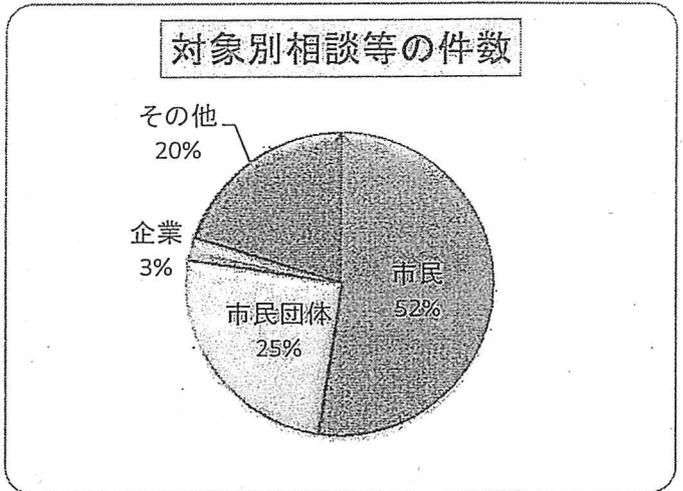
平成27年度

## 【参考】相談等の内訳

(相談と特記事項がある問合せの一覧を分類したもので、相談数値集計とは一致していません。)

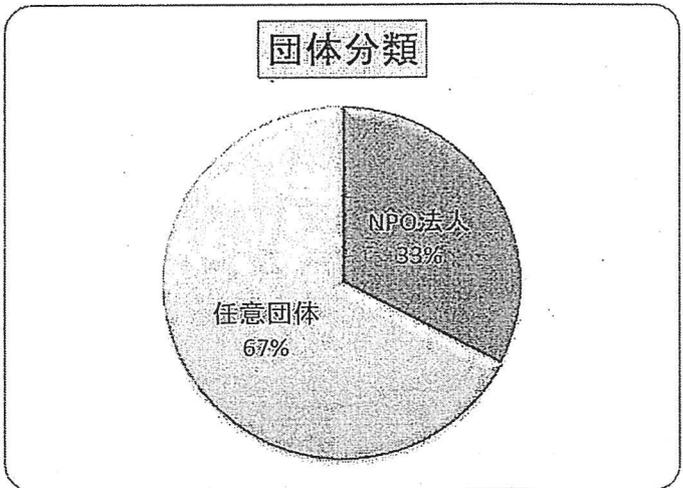
### 《対象別》

対象	件数
市民	320
市民団体	153
企業	15
その他	123
合計	611



### 《団体からの相談分類》

団体分類	内容	件数	
NPO法人	運営	26	50
	活動	24	
	その他	0	
任意団体	運営	21	103
	活動	80	
	その他	2	
合計		153	153



### 《市民からの相談等内訳》

内容	件数
個人的活動について	55
さぼらんてについて	19
市民団体について	181
その他	65
合計	320

